



RI会長	田中 作次
第2790地区ガバナー	得居 仁
第5分区ガバナー補佐	古市 一雄
第5分区幹事	島田 誠一
第2790地区地区委員 ロータリー財団委員会 勝浦RC	関 一憲
新世代奉仕委員会 鴨川RC	羽鳥 鋭一
勝浦ロータリークラブ 会 長	古川 範男
幹 事	中村 満
クラブ会報委員長	小林 悠紀
副委員長	渡邊 ヒロ子
委 員	渡邊 昌俊
	関 一憲

◆8月 3日(金)のプログラム

- ・長期交換学生
齋藤マリナさん壮行会
- ・那智勝浦 RC との調印式の様子
ビデオ上映

◆8月の例会予定

【会員増強拡大月間】

- ・8月 7日(火) ~ 9日(木)
福島の子どもたち招待プロジェクト
- ・8月10日(金) 休会
- ・8月17日(金)
ゲスト卓話
場所：ブルーベリーヒル勝浦
- ・8月24日(金)
会員卓話
場所：ブルーベリーヒル勝浦
- ・8月31日(金)
ゲスト卓話
場所：本行寺檀信徒会館

●会長挨拶 古川範男会長



今日は“牝鶏（ひんけい）晨（あした）す”です。めんどりが時をつくるという事です。本来はおんどりが朝、コケッココーと鳴く訳ですが、代わりにめんどりが鳴いてしまうんです。そうするとどういふ事になるか…中国の故事、ことわざの一種です。なぜこの話を選んだかと言いますと、私の古巣である日経新聞が今、社長のダスキャンダルで揺れております。喜多恒雄君は私より二歳年上なんです、一緒に仕事もしましたしよく知っております。愛人と目される女性も、日本経済研究センターと一緒に仕事をして非常によく知っております。それ以来30年近い付き合いでですね、何と喜多君はこの女性をボランティアで使ってたと思ったら正社員にしたんです。そして日経新聞の一番中枢にある経済部のデスクに登用してしまった。そうすると何が起こったか。この女性は部下の若手記者を捕まえて威張ったり、デスクになって一年ちょっと経ったようですが、経済部長二人の首を飛ばしたり、あるいは常務・専務の悪事をねつ造しては喜多恒雄君に申しつけて首を飛ばしたりという様な事態が明らかになってきております。古来より傾城の美女という言葉があります。唐の玄宗皇帝の愛人でありました楊貴妃はたいへんな美女だったようです。それに狂った玄宗皇帝は国の事などお構いなし。そして唐はおかしくなってしまう。日野富子という女傑が日本を狂わした事もあります。弓削道鏡に狂った天皇もおります。そのような事で時ならぬ、めんどりがコケッココーと鳴いた時は要注意。その家、組織、国は滅びる恐れが非常に大きいという事です。日経新聞もまさに今そういう時を迎えているのかもしれない。ただ、この“牝鶏晨す”というのは男社会の言葉なんですね。今はもう女性がオリンピックで大活躍してますし、勝浦RCなんかは女性の活躍の方が目立っている様な感じもある訳で、使い方を誤ると女性の響きを買います。私はこう考えております。“牝鶏”は雌の鶏ではなく、要するに“自分の器を知らない嫌な人間”が何かをやった時は要注意だよと。そういう風に読んだ方がいいと思います。そのためには「一人ひとりがまず自分を明らかにしたうえで、それに合う事をする」という事が肝要なのだろうと思います。という事で“牝鶏晨す”という言葉、ぜひ脳裏に刻んで頂けたらと思います。

●幹事報告 中村満幹事



1. 第2回目の新世代奉仕委員会（青少年交換プログラム）のオリエンテーションのお知らせがきています。
日時 8月26日（日）13:15 千葉市民会館
2. 地区国際奉仕委員会・ロータリー財団委員会合同セミナー
日時 8月4日（土）10:00 場所京葉銀行文化プラザ
出席者は会長・幹事・国際奉仕委員長西川会員・ロータリー財団委員長代理で中村昇会長エレクトの4人です。
3. ガバナー事務所より
月信報告はウェブサイトから報告となりました。
4. 大多喜RCより例会時間変更のご案内
平成24年7月より火曜日の12:30~13:30との事です。
5. 来週の7~9日は福島の子どもたち招待日ですので参加の方はよろしくお願いします。
6. 来週はお盆のため休会ですので間違わないようお願いします

●委員会報告

◆出席委員会 前田安彦委員長



7月の出席率は89.29%です。

◆社会奉仕委員会 齋藤麻美子委員長



今日、皆さんに配布されたロータリーの友の22~27頁にロータリー希望の風奨学金についての記事が載っておりますのでご一読下さい。今年度中に浄財のお願いをしたいと思いますのでご協力お願い致します。

◆50周年実行委員会 水野敬泰実行委員長



お手元に三枚綴りの資料が配布されております。50周年実行委員会の組織表と、7~9日の福島の子どもたち招待プロジェクトの資料です。服装は軽装で参加して下さい。皆さんのお力をお借りして、福島の子どもたちにすばらしい思い出を作ってもらいたいと思います。よろしくお願いします。

●ニコニコBOX

○本人誕生日

◆西川佳璋 君



今日は会場を私の所で開催していただきまして、ありがたく御礼申し上げます。66歳になりまして、家内に感謝しつつ毎日を過ごしておる事を申し上げます。

○自主申告

◆釜田英之 君



オリンピックの開会式前に、男女のサッカーが幸先良く勝利してスタート致しました。楽しい夜更かしができますようにと言おうと思ったのですが、先週自主申告がなかったので今日させていただきます。お陰さまで残念な種目もありますが、今のところわくわくドキドキしながら楽しい夜更かしをさせて頂いております。おそらく閉会までこの夜更かしが続くと思います。昼寝を十分とってご致しますのでご心配しないでください。ありがとうございます。

◆西川佳璋 君

先日、関正己前会長からご案内のあった吉野熊野新聞のコピーを皆様のテーブルに配布しました。仲立ちをお願いしました谷川さんと言う方がこの新聞社の社長さんでございます。谷川社長より新聞を送っていただきましたので、ご回覧下さい。

◆牧野利美 君



数年前にこの本行寺さんの会館とご自宅を当社でやらせていただきました。檀家でもないのに本当に申し訳ございませんでした。

◆池田哲夫 君



今日はお弁当をお買い上げいただきましてありがとうございました。バッジをなくして幹事にとってもらったので、ニコニコにお返しさせていただきました。

◆関正己 君



新聞の記事の訂正をさせていただきます。記事には、“勝浦 RC から那智勝浦町に多額の義捐金が寄せられた”とありますが、“勝浦町から那智勝浦 RC に多額の義捐金が寄せられた”の間違いです。そのあと最終的に持っていったのが勝浦 RC から那智勝浦 RC です。ミスプリですのでよろしくお願ひします。

●長期交換学生 齋藤マリナさん壮行会

◆国際奉仕委員長挨拶

国際奉仕委員会 西川佳璋委員長



国際奉仕委員長の西川です。千葉さん、鈴木さんのご協力のもと、今日の席になった事をご報告させていただきます。

◆国際奉仕委員会 千葉正徳委員



長期交換学生の齋藤マリナさんの壮行会を開催させていただきます。ご承知の通り 8 月 20 日、米国ソルトレイクシティに向けて出国いたします。この地区は今年度、ブラジル・ドイツ・フィンランド・台湾・デンマーク・スペイン・イタリア・スイス・日本の 9 カ国から 10 名の交換学生を受け入れるという事で、内容の濃いすばらしい地区であるという事を申し添え致します。

◆長期交換学生 齋藤マリナさん



こんにちは。今回、勝浦 RC から長期交換学生としてアメリカ、ユタ州のウェストジョーダンに 1 年間留学することになりました。齋藤マリナです。私は、海が大好きで趣味はサーフィンです。兄弟は 4 人で姉が 3 人います。私の両親は水産業を営んでおり、父が社長で、母は常務をしています。去年の 10 月の選考試験から今日に至るまで、沢山の方々に支えられてきました。7 カ月間、

地区委員の方や、ロータリーでの交換学生経験者の方々に、いろいろとご指導いただき、留学するための知識を身につけてきました。1年間、親元を離れるので少し寂しい気持ちはありますが、ユタ州で一生の友人を沢山作り、日本のいいところを沢山広めていきたいと思えます。勝浦RCの皆さんに与えていただいた、素晴らしいチャンスと多大なるご支援に感謝します。8月20日ユタ州に向けて出発します。行ってきます。

※英語と日本語の両方でスピーチをしていただきました

◆国際奉仕委員会 齋藤麻美子副委員長



このたびは、マリナの為にこのような会を開いて頂き、ありがとうございます。10月に候補生となりましたから、あっという間に7カ月が過ぎてしまいました。その間に勝浦RCや、地区の委員の方々に、沢山の指導を頂きました。ありがとうございます。7カ月間、月に1度のオリエンテーションでは、日本の事について学び、毎月頂くテーマについて本人が真剣に考え、日本語と英語でスピーチをする練習をしてまいりました。アメリカに行きましたら、スピーチの機会が沢山あると思えますので、本人には大きな自信につながったと思えます。マリナは、20日に出発する訳ですが、親の立場から言いますと、本当に寂しくて心配ですが、ユタ州の地区委員の方々、カウンセラーそして、ホストファミリーの方々に信頼し、お願いする訳でございますので、19日に来日するフィリップ君のご家族も同じ気持ちでおられるかと思えますので、皆様のご指導を頂きながら、自分の子どもと同じように大切にお預かりしたいと思います。皆様には、沢山の協力頂くことになると思えます。宜しくお願い致します。

◆古川範男会長より

おめでとうございます。10代の留学というのは大きなチャレンジ、そしてチャンスだと思います。文豪・夏目漱石は英語の先生で、作家になる前は当時の文部省から学費を貰い、ロンドンに留学をしていました。しかし大変な読書家であったので貰った学費すべて本を買う事に使ってしまう、食べるものも無く、下宿も最低になり毎日悩んで神経衰弱になってしまいます。しかし彼はロンドンにいる間に実に多くの発見をしました。

一つは、当時イギリスで流行っていた小説『飼い犬ポチの冒険』を読み、これだと思い、日本に帰ってから犬を猫に置き換えて『吾輩は猫である』を書きました。そうしたら、これがものすごい話題になって小説家の道を歩み始めたんです。

『坊ちゃん』も似たような題材があって、いつかこういう小説を日本でも書いてやろうと思ったそうです。だから、マリナさんもユタ州に行ったらどんなチャンスが転がっているか分からない。ものすごいビッグチャンスがあるように思えます。いろいろな物・ネタが転がっていますから、目を皿のようにして、とにかく何か見つけてきて下さい。そして帰ってきたら、私はこれを見つけたと言えるようなものを私たちに教えて下さい。頑張ってください。好奇心の塊でやってください。



◆千葉正徳委員より

8月19日にハワイからフィリップ君が来日致します。出迎えに行ける方は是非お申し出ください。以上で壮行会を終わります。ありがとうございました。

出席報告 8月 3日 (金)

出席委員会 前田安彦委員長

会員	出席	MU	欠席	出席率
35名	27名	5名	3名	91.43%

福島の子どもたち招待プロジェクトが
8月7～9日に、ブルーベリーヒル勝浦にて
以下の日程で行われました。

2012年8月7日(火)

- ・お出迎え
- ・ウェルカム・ミーティング
主催者側の挨拶、参加者の自己紹介
8日の日程確認、施設についての説明
- ・ウェルカム・サパー(夕食)&交流

2012年8月8日(水)

- ・うさぎさん、やぎさんふれあいタイム
- ・海水浴、プール
- ・馬とのふれあいタイム、乗馬体験
- ・フェアウェル・サパー(夕食)&交流
- ・渡邊ヒロ子会員によるミニコンサート

2012年8月9日(木)

- ・お見送り

渡邊ヒロ子会員によるミニコンサート



福島の盲学校生を招待

勝浦ロータリークラブ 乗馬や朝市見学に

東日本大震災の被災地から盲学校の生徒を招き、乗馬体験などを楽しんでもらう交流事業が7～9日、勝浦市興津のリゾート施設「ブルーベリーヒル勝浦」で企画。福島県内のロータリークラブに打診し、東京電力福島第一原発の事故

後、約1年間も校外活動ができなかった福島県立盲学校の中学部と高等部の生徒計10人を招いた。7日にやってきたのは生徒と家族、教員ら総勢31人。同園で飼育されているウサギやヤギに触れたり、ブルーベリーを摘んだりした

後、「去年から海に遊びに行っていないので、明日は勝浦の海を楽しみたい」と話していた。引率の鈴木美恵子教諭は、「被災地の健常者が招待されることは多いが、障害者が声をかけてもらう機会が少ないのでありがたい。今回は保護者や家族も一緒に呼んで頂き、本当に感謝している」と話していた。



ヤギに餌をやる福島県立盲学校の生徒

8日にヤギへの餌やりを体験した高等部1年の瀧川静香さん(17)は、「ヤギは手のひらから、うまく餌だけを食べるんですね」と笑

8月9日(木)の読売新聞【千葉版】に掲載されました。